

情報社会とコンピュータ		講義	教授 樽井 勇之	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目 教職科目		科目ナンバリング	21200106 25310106

1. 授業のねらい・概要

デジタル社会において、数理・データサイエンス・AI (Artificial Intelligence) を日常生活、企業活動、地域活動の場で使いこなすことができる知識・技能を身につけることがねらいである。現在、あらゆる分野でAIが搭載され、日常生活のさまざまな場面でも利活用が進んでいる。本科目を学ぶことによって、このような技術を取り扱う際にも、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意思で利活用でき、生活をより豊かなものにすることができる。

本科目は、文科省の数理・データサイエンス・AI (リテラシーレベル) の知識全般を身に付けることができる。

2. 授業の進め方

講義中心に進めるが理解を深めるために定期的に小テストを行う。

3. 授業計画

1. データを取り扱うハードウェア	9. 推薦システムのしくみ
2. データを取り扱うソフトウェア	10. 情報の可視化
3. 社会で起きている変化	11. インターネットとアクセス解析
4. 企業におけるデータ利活用	12. データを読む・説明する
5. データの前処理と分析のプロセス	13. データを扱う
6. 日常生活の中の人工知能	14. 情報セキュリティとAI利活用における留意事項
7. 機械学習のしくみ	15. 個人情報の保護と活用
8. コンピュータからのおすすめ情報	

4. 準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

課題として出題された内容の復習に1時間程度必要である。

5. 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法

課題を出題後にヒントを与え、次回授業時に解答のポイントを説明する。

6. 授業における学修の到達目標

情報および情報技術を理解し、大学に設置されているコンピュータ利用が円滑かつ適正に行えることを目的とする。

7. 成績評価の方法・基準

課題 (50%)、期末試験の結果 (50%) によって評価する。

8. テキスト・参考文献

教科書：「新入生のためのデータサイエンス入門」, 共立出版, 2023年

9. 受講上の留意事項

講義と同時に課題を出題するので、欠席しないこと。また、講義の内容を理解するためにノートをきちんととること。理解できないときは積極的に質問してください。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。